

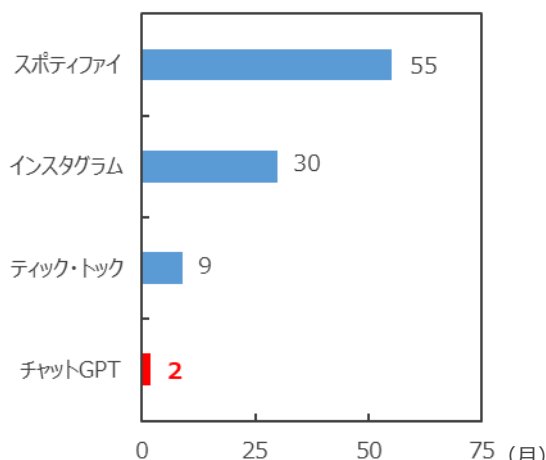


## 今日のトピック AIの進化と市場拡大がけん引する半導体需要 チャットGPTブームで注目集まる半導体企業

### ポイント1 チャットGPTブーム到来

- 米オープンAI社が開発した最先端の対話型人工知能（AI）、チャットGPTが世界的なブームを巻き起こしています。チャットGPTのアクティブユーザー数は発表後2カ月で1億人を突破し、業界関係者を大いに驚かせています。ちなみに、動画投稿アプリ「ティック・トック」の同アクティブユーザー数が1億人を突破したのはサービス開始から9カ月後、写真共有アプリ「インスタグラム」は30カ月後、音楽ストリーミングアプリ「スポティファイ」では55カ月後といわれており、チャットGPTの人気の程が伺えます。
- チャットGPTブームともいえる状況ですが、株式市場ではオープンAIや協業先のマイクロソフトだけでなく、半導体関連企業への関心が高まっています。

【アクティブユーザー1億人到達に要した期間】



(出所) 各種報道を基に三井住友DSアセットマネジメント作成

### ポイント2 AIの「学習」と「推論」を支える高性能半導体

- 対話型AIが脚光を浴びる中で半導体株に関心が集まるのは、その開発や運用に高度な半導体が重要な役割をはたすからです。AIはデータを「学習」し「推論」を組み立てることで、従来のコンピューターでは難しかった「判断」を行うことができるとされています。チャットGPTも膨大なデータを「学習」し、「推論」を行うことで「言語モデル」を構築していますが、こうしたプロセスにはデータセンターを丸ごと稼働させても数カ月を要するとされています。このため、データ処理能力や演算スピードに優れるAI向け高性能半導体企業が、俄然注目が集まっているのです。

### 今後の展開 AIブームの追い風受ける半導体企業、銘柄選別には注意を

- 対話型AIに代表される高性能なAIの登場をきっかけに、株式市場では半導体株への関心がにわか高まっています。今年の米株式市場はハイテク株を中心に堅調ですが、半導体株全般の値動きを示すフィラデルフィア半導体株指数（SOX指数）は、ハイテク銘柄を多く含むナスダック総合指数を大きく上回って推移しています。

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友DSアセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。

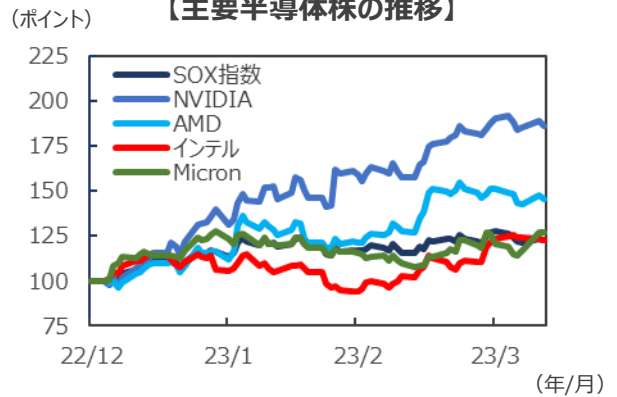


- AI市場の拡大の恩恵を受ける半導体業界ですが、銘柄選択には注意が必要です。というのも、コロナ禍での「巣ごもり需要」に沸いたPCやスマートフォンはこのところ需要減速が鮮明で、半導体全般の引き合いは強くないからです。例えば、AIの「学習」プロセスを担う画像演算処理装置（GPU）最大手のエヌビディア（NVIDIA）や、同じくAI用サーバー向けGPUや「推論」プロセスで使われる中央演算処理装置（CPU）大手のアドバンスト・マイクロ・デバイス（AMD）の株価は好調です。その一方で、PC向けCPUが主力のインテルや、フラッシュメモリーなど記憶媒体用の半導体を製造するマイクロン・テクノロジー（Micron）の株価は、年初来の戻り相場でも大きく出遅れています。

【主要株価指数の推移】



【主要半導体株の推移】



(注) データは2022年12月30日～2023年4月11日。2022年12月30日 = 100として指数化。  
 (出所) Bloombergのデータを基に三井住友DSアセットマネジメント作成

- チャットGPTに代表される、膨大なデータを「学習」し、高度な「推論」を行う巨大AIについては、競合する米アルファベットや中国アリババなども開発を積極化させており、今後は様々な分野での利用拡大が続きそうです。このため、AI関連の半導体銘柄への追い風は、当面続くことが期待できそうです。

※個別銘柄に言及していますが、当該銘柄を推奨するものではありません。

ここも  
チェック!

2023年2月20日 みんなのなんでも回答マシン『チャットGPT』  
 2023年1月19日 そこに愛はあるか、「AI新時代」というこの未来

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友DSアセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。